

平成 25年度市政懇談会 タウンミーティング

ボランティア連絡会

開催日：平成 25年 11月 27日(水)

参加人数：14人



質問 ボランティア連絡会は横のつながりを大切にしている。これから御前崎市を「福祉のまちボランティアのまち」として作り上げてもらいたい。

回答 行政、社会福祉協議会とともに一丸になった横のつながりで皆さんを支えていくことが大事であると考えている。

質問 多くの人にボランティア連絡会に入ってもらいたいとお

質問 ボランティア連絡会の必要性を市はどのように考えているのか。

回答 多くのボランティアによって支えられている。市としても社会福祉協議会だけでなく、市民部や事業部、教育委員会などと連携して支援していかなければならないと考えている。



質問 ボランティアの運営方法などについて、今後新年度に向けて議論していく。

質問 余ったタクシール券を譲りたいと考えているが、渡すことができるようできないか。

回答 過去にタクシール券を売買されたことがあったため、タク

願いしているが入ってもらえない。会の存続など、さまざまな面で危機感を感じている。今後とも力添えをお願いしたい。

回答 ボランティアへの支援は社会福祉協議会だけでなく、市民部が中心となり教育委員会や病院などと連携していくことが必要である。市も幹部会議などですっかり議論していく。

質問 「にこにこサロン」に行きたいがタクシール券が終わってしまうと行けなくなってしまう。タクシール券の有効的な利用を進めてほしい。



質問 県の施設であり、現在使用中でもあるため、譲渡を受けた時点で決めるが、期待にこたえるように進めていく。

質問 福祉のまちのためにも統一された福祉会館を造ってもらい、その中にボランティア連絡会も入れていただきたい。

回答 市役所にボランティアビューローのようなものを置くことができるか。

回答 市役所内の案内をボラン

シアール券は現行制度では譲り渡すことができないこととなっている。余ったタクシール券は返していただくようご理解願いたい。

質問 ボランティア団体などが自由に使える部屋が欲しい。オフィスサイトセンターに必ず部屋を用意すると確認していただければありがたい。

回答 県の施設であり、現在使用中でもあるため、譲渡を受けた時点で決めるが、期待にこたえるように進めていく。



質問 市役所に手話のできる職員を配置してほしい。

回答 手話通訳職員を配置することは、サービスの向上につながるが、特殊な分野であり専任の職員を採用すると人件費など行政改革の観点からそれてしまうため設置に至っていない。手話通訳派遣事業の中で支障のない範囲でうまく対応していきたい。

ティアの皆さんにしてもらうことも良いアイデアであると感じる。建て替えは今直ぐにできる話ではないので、貴重な意見として今後の課題とさせていただきます。

質問 市役所に手話のできる職員を配置をお願いしたい。

回答 手話通訳職員を配置することは、サービスの向上につながるが、特殊な分野であり専任の職員を採用すると人件費など行政改革の観点からそれてしまうため設置に至っていない。手話通訳派遣事業の中で支障のない範囲でうまく対応していきたい。

